2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　株式会社スポーツフィールド　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7080　　URL　https://www.sports-f.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役　　（氏名）　篠崎　克志
問合せ先責任者　（役職名）　上席執行役員　　（氏名）　亀田　高一郎　　(TEL) 03-5225-1481

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,784	51.7	852	22.0	854	22.0	552	20.9
2025年12月期第３四半期	3,154	10.8	698	7.2	700	7.7	457	10.4

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　552百万円(　20.9%)　2025年12月期第３四半期　457百万円(　10.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	75.33	74.49
2025年12月期第３四半期	62.62	61.59

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,179	2,828	67.7
2025年12月期	3,885	2,429	62.5

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　2,828百万円　　2025年12月期　2,429百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	21.00	21.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,470	35.2	1,300	20.7	1,300	20.3	845	8.0	115.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　ー社（社名）　ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	7,504,960株	2025年12月期	7,482,240株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	149,996株	2025年12月期	149,996株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	7,337,317株	2025年12月期３Ｑ	7,300,037株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

ー

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（企業結合等関係） …… 8
（収益認識関係） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害、金融資本市場の変動の影響などに注意する状況は依然として続いております。人材サービス業界においては、2026年９月の有効求人倍率は1.19倍と依然として底堅く推移しております。また、スポーツ関連用品の販売を手掛ける物販事業においては、物価上昇による選別消費が進む中、個人の健康増進や生活の質向上を目的としたスポーツ実施率は底堅く推移しております。

このような経営環境の中、当社グループは「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時にスポーツが持つ可能性を様々なフィールドで発揮し、個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること」という経営理念のもと、スポーツ人財（※１）がスポーツを通じて培った素養を活かし、競技以外のビジネスというフィールドで輝けるよう、最適な企業と結びつけることに取り組んでまいりました。

（※１．スポ―ツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財。新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者。既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人。）

なお、2025年10月１日より株式会社リンドスポーツが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「スポーツ人財採用支援事業」に「スポーツ用品企画・販売事業」を加えた２セグメントに変更しております。当該変更に伴い、「スポーツ用品企画・販売事業」については、前年同期のセグメント情報が存在しないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

（スポーツ人財採用支援事業）

・新卒者向けイベント

新卒者向けイベントの当第３四半期連結累計期間における売上高は1,224,511千円（前年同期比5.1%増）となり、前年同期実績を上回り過去最高の売上高となりました。売上高が出展単価の向上により計画通りに推移しております。イベント開催数は、来場型・中小規模イベントの開催数が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。販売枠数は、就職活動の早期化、並びにイベント品質と需給の適正化を考慮した計画の通りに推移しております。2028年卒向けイベントの受注進捗は、前年同期比2.7%増と、2027年卒向けイベントの実績を上回って推移しております。

・新卒者向け人財紹介

新卒者向け人財紹介の当第３四半期連結累計期間における売上高は1,268,775千円（前年同期比23.1%増）となり、過去最高の売上高を更新しました。2027年卒のスポナビ累計登録者数は卒業前年度９月末時点において前年同期実績を上回りました。2027年卒ユニーク紹介学生数（企業に紹介した重複しない学生数）は前年同期比で増加、ユニーク紹介企業数（学生に紹介した重複しない企業数）についても、企業の旺盛な新卒採用ニーズを取り込むことにより、前年同期実績を上回りました。また、2027年卒のスポチャレ累計登録者数は前年同期実績を上回って推移しており、新卒者向け人財紹介における売上高の増加に寄与しました。

・既卒者向け人財紹介

既卒者向け人財紹介の当第３四半期連結累計期間における売上高は908,865千円（前年同期比10.3%増）となり、前年同期実績を上回り過去最高の売上高となりました。ターゲティング広告の強化により有効な登録者を確保しつつ、新規登録者数は前年同期実績を上回りました。ユニーク紹介人財数（企業に紹介した重複しない人財数）は前年同期実績を上回りました。ユニーク紹介企業数は前年同期実績をわずかに下回ったものの高い水準を維持しております。スポーツ関連企業に特化した就職・転職情報サイトであるスポジョバからの人財紹介案件への成約は、前年同期実績を上回り、

既卒者向け人財紹介の売上の増加に寄与しました。

（スポーツ用品企画・販売事業）

当第３四半期連結累計期間における売上高は1,206,625千円となり、堅調な売上を維持しグループ全体の業績の押し上げに貢献しました。統合プロセス（PMI）についても計画通りに進展しており、既存事業とのクロスセル・アップセルなど、グループシナジーの最大化に向けた体制構築が順調に進んでおります。

売上原価に関しては、新卒者向けイベントにおけるイベント開催数及び開催費用の増加、スポンサーサービスの物品費用、スポーツ用品企画・販売事業の商品原価の計上により前年同期比で増加しました。

営業利益及び経常利益に関しては、成長のための投資により販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果がこれらを上回り、利益は前年同期実績を上回りました。人件費は、人員体制強化のための新卒採用社員・中途採用社員の入社、株式会社リンドスポーツの連結化により前年同期比で増加しました。地代家賃は、既存オフィスの増床等により前年同期比で増加しました。広告宣伝費は、スポチャレ・スポナビキャリア及びスポジョバ等の更なる登録者獲得のための投資により前年同期比で増加しました。その他販管費については、株式会社リンドスポーツに係るのれん等の償却及びグループ人員増に伴う諸費用の増加に伴い前年同期比で増加しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は4,784,146千円（前年同期比51.7％増）、営業利益は852,710千円（前年同期比22.0％増）、経常利益は854,363千円（前年同期比22.0％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は552,725千円（前年同期比20.9％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は4,179,360千円となり、前連結会計年度末に比べ294,332千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加に伴い流動資産が262,363千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は1,350,654千円となり、前連結会計年度末に比べ104,619千円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少に伴い流動負債が70,745千円減少、長期借入金の減少に伴い固定負債が33,874千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は2,828,705千円となり、前連結会計年度末に比べ398,952千円増加しました。これは主に、利益剰余金が398,748千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期業績予想につきましては、2026年２月13日に公表した予想数値から変更はありません。

当第３四半期連結累計期間の売上高は前年同期実績を上回り過去最高となりましたが、先行きについては、中東情勢並びに金融資本市場の変動の影響などに注意する状況が続くことを鑑み、2026年12月期の通期業績予想を据え置くものとしております。

上記に記載した業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,778,220	2,152,812
売掛金	681,021	509,017
商品	552,167	596,397
その他	101,135	115,862
貸倒引当金	△2,506	△1,686
流動資産合計	3,110,038	3,372,402
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	266,222	287,054
工具、器具及び備品	135,306	149,007
減価償却累計額	△171,822	△203,114
有形固定資産合計	229,706	232,947
無形固定資産		
のれん	188,771	174,250
顧客関連資産	35,436	28,349
無形固定資産合計	224,207	202,599
投資その他の資産		
敷金	203,291	210,509
繰延税金資産	106,310	150,569
その他	11,472	10,331
投資その他の資産合計	321,074	371,410
固定資産合計	774,988	806,957
資産合計	3,885,027	4,179,360

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,383	26,431
1年内返済予定の長期借入金	115,082	55,630
未払金	90,686	126,174
未払費用	174,272	168,527
返金負債	90,677	101,030
未払法人税等	242,281	140,297
未払消費税等	105,159	83,844
賞与引当金	69,653	145,550
その他	114,866	123,833
流動負債合計	1,042,065	971,319
固定負債		
長期借入金	253,806	214,020
資産除去債務	117,634	123,269
その他	41,769	42,045
固定負債合計	413,209	379,335
負債合計	1,455,274	1,350,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,742	93,844
資本剰余金	83,442	83,544
利益剰余金	2,352,938	2,751,687
自己株式	△100,370	△100,370
株主資本合計	2,429,752	2,828,705
純資産合計	2,429,752	2,828,705
負債純資産合計	3,885,027	4,179,360

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,154,640	4,784,146
売上原価	140,795	952,309
売上総利益	3,013,845	3,831,837
販売費及び一般管理費	2,314,918	2,979,127
営業利益	698,927	852,710
営業外収益		
受取利息	2,790	5,239
受取配当金	0	1
雑収入	18	1,443
営業外収益合計	2,808	6,683
営業外費用		
支払利息	1,076	3,340
雑損失	－	1,691
その他	261	－
営業外費用合計	1,337	5,031
経常利益	700,398	854,363
税金等調整前四半期純利益	700,398	854,363
法人税、住民税及び事業税	306,446	345,897
法人税等調整額	△63,165	△44,259
法人税等合計	243,281	301,637
四半期純利益	457,117	552,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,117	552,725

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	457,117	552,725
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	457,117	552,725
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,117	552,725
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2025年10月１日に行われた株式会社リンドスポーツとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第３四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に見直しが反映されており、「のれん」として計上していた金額の一部を「顧客関連資産」に組み替えております。この結果、暫定的に算定されたのれんの金額218,018千円は24,406千円減少して193,611千円となり、顧客関連資産は37,799千円、繰延税金負債は13,392千円それぞれ増加しております。

また、前連結会計年度末におけるのれんは23,796千円、繰延税金資産は12,555千円、利益剰余金は915千円それぞれ減少し、顧客関連資産は35,436千円増加しております。

なお、のれんの償却期間は10年、顧客関連資産の償却期間は４年であります。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失に関する情報及び収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上
	スポーツ人財採用支援事業	スポーツ用品企画・販売事業	計		
売上高					
新卒者向けイベント売上高	1,165,270	－	1,165,270	－	1,165,270
新卒者向け人財紹介売上高	1,030,650	－	1,030,650	－	1,030,650
既卒者向け人財紹介売上高	823,985	－	823,985	－	823,985
物販売上高	－	－	－	－	－
その他売上高	134,734	－	134,734	－	134,734
顧客との契約から生じる収益	3,154,640	－	3,154,640	－	3,154,640
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	3,154,640	－	3,154,640	－	3,154,640
セグメント間の内部売上高	－	－	－	－	－
計	3,154,640	－	3,154,640	－	3,154,640
セグメント利益	698,927	－	698,927	－	698,927

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失に関する情報及び収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上
	スポーツ人財採用支援事業	スポーツ用品企画・販売事業	計		
売上高					
新卒者向けイベント売上高	1,224,511	－	1,224,511	－	1,224,511
新卒者向け人財紹介売上高	1,268,775	－	1,268,775	－	1,268,775
既卒者向け人財紹介売上高	908,865	－	908,865	－	908,865
物販売上高	－	1,206,625	1,206,625	－	1,206,625
その他売上高	175,367	－	175,367	－	175,367
顧客との契約から生じる収益	3,577,520	1,206,625	4,784,146	－	4,784,146
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	3,577,520	1,206,625	4,784,146	－	4,784,146
セグメント間の内部売上高	－	5,942	5,942	△5,942	－
計	3,577,520	1,212,568	4,790,089	△5,942	4,784,146
セグメント利益	767,534	85,919	853,453	△742	852,710

(注) １．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２． 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、株式会社リンドスポーツが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「スポーツ人財採用支援事業」に加え、「スポーツ用品企画・販売事業」を追加しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、「１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失に関する情報及び収益の分解情報」の前第３四半期連結累計期間に記載しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「スポーツ用品企画・販売事業」セグメントにおいて、2025年10月１日に行われた株式会社リンドスポーツとの企業結合について、前連結会計年度に暫定的な会計処理を行っておりましたが、中間連結会計期間に確定しております。詳細につきましては、「注記事項（企業結合等関係）」の「（企業結合に係る暫定的な会計処理の確定）」をご参照ください。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費、のれんの償却額、顧客関連資産償却額は次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	26,271千円	31,266千円
のれんの償却額	－	14,520千円
顧客関連資産償却額	－	7,087千円